

張愛玲文学作品における上海語研究(3)

—『十八春』(『半生縁』)の動詞を中心に—

吉田陽子

『十八春』の動詞について(第11章～第12章)

章-頁-行	下線の語彙—上海語の動詞 ローマ字—上海語の発音	(文章の翻訳)、〈共通語〉
11章-171頁-20行	世鈞的舅父冯菊菘到南京来, 目的虽然是避寿, 世鈞家里还是为他预备下了寿筵, 不过没有惊动别的亲友, ……。 预备(yhúbhé) 惊动(jìndhón)	(世鈞の馮菊菘おじが南京から遣って来たのは、誕生祝いを避けるためとは言え、それでも世鈞の家族は彼に誕生日の祝宴を準備していたが、他の親戚友人を呼ばなかった。…中略…) 预备:準備する;用意する。(前掲「10-161-26、10-162-1」に同じ。《预备下 yhúbhéhó》は方向補語を附加した用法。预备下=〈准备好〉 惊动:驚かす;邪魔する。惊动=〈打搅〉
11-172-3、4	菊菘见到嘯桐, 心里便对自己说: “像我们这样年纪的人, 就是不能生病。一场大病生下来, 简直就老得不像样子了!” 生病(sànbhín)	(菊菘は嘯桐に会うと、「私たちのような年齢の人は病気だけは避けたい。重い病気になってしまうと、まるで見る影もないくらい老けてしまうからだ」と思っていた。) 生病:病気になる。(《生下来 sànhhóláe》は方向補語を附加した用法。)生下来=〈生病生下来〉
11-172-5、6	嘯桐也想道: “菊菘这副假牙齿装坏了, 简直变成个瘪嘴老太婆了!” 装(zàn)	(嘯桐もまた、「菊菘の入れ歯は上手く装着しておらず、まるで頬がくぼんでいる老婦人のようだ」と思っていた。) 装:装着する。(《装坏 zànhhuá》は結果補語を附加した用法。)装坏=〈装糟〉
11-172-18 ~ 20	“……有一次我听见人说, 李璐嫁了人又出来了, 也不做舞女了, 简直就是个私娼。我是说, 我倒要去看看, 看她还搭架子不搭!” 做(zū) 搭(dak)	(「…中略…ある時、李璐は嫁いでからまた出てきて、ダンサーも辞めたと人から聞いた。まるで私娼のようだ。私が言いたいのは、彼女に会いに行く時、彼女が今でも偉ぶった態度を取るのかを確かめたいのだ」と。) 做:~になる。(《做舞女 zūwúnú》:ダンサーになる。)做舞女=〈当舞女〉 搭:~のそぶりをする。(「搭架子不搭」は《搭架子勿搭 dakkāzīvekdak》にも使われており、反復疑問文の用法。)搭架子=〈摆架子〉
11-173-9、10	菊菘道: “可会是她的妹妹, 我记得李璐有好几个妹妹, 不过那时候都是些拖鼻涕丫头。”	(菊菘は「ひょっとしたら彼女の妹かもしれない。李璐には何人かの妹がいるという記憶だが、その時はみんな鼻水を垂らしている小娘だった」と

	拖(tù)	言った。 拖:垂らす。(《拖鼻涕 tùbīktī》:鼻水を垂らす。) 拖鼻涕 = 〈流鼻涕〉
11-173-23、24	沈太太起初听了这话，一时脑子里没有转过来，只是“嗯，嗯，哦，哦”地应着。 转(zēu)	(沈夫人が最初この話しを聞いたらすぐには反応できず、ただ「うん、うん、ははあ、ははあ」して答えているだけだった。) 转: 変える。(「没有转过来」は《既咄转过来 m mēkzēugūlái》にも使われており、方向補語を附加した用法。) 没有转过来 = 〈没有反应过来〉
11-173-26 11-174-1	嘯桐道：“你懂得些什么，……。” 懂(dōn)	(嘯桐は「君は何が分かる? …中略…」と言った。) 懂: 分かる。(「你懂得些什么」は《依懂得点啥个 nōndōndekdīsāghēk》にも使われている。) 懂 = 〈知道〉
11-174-4	嘯桐又道：“世钧不知道可晓得她的底细。” 晓得(xiāodek)	(嘯桐はまた「世鈞は彼女に関する詳しい事情を知っているだろうか」と言った。) 晓得: 知る。(前掲「7-104-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉
11-174-10、 11	她只想把这件事往叔惠身上推，因道：“我看，这件事要是真的，倒是得告诉许家少爷一声，点醒他一下。” 点醒(dīxīn)	(彼女はひたすらこの事の責任を叔恵に押しつけようとしたので、「この事がもし本当なら、許若旦那に告げて、ちょっと目を覚ませさせなければならぬ」と言った。) 点醒: 目を覚ませる。点醒 = 〈提醒〉
11-174-12 ~ 14	嘯桐道：“许叔惠我倒是很器重他的，要照这样下去，那我真替他可惜，年纪轻轻的，去跟这样一个女人搅在一起。” 搅(gháo)	(嘯桐は「許叔恵ならとても重んじている方で、このように続ければすごく惜しく思う。こんなに若いのに、そのような女とくっついてしまったなんて」と言った。) 搅: くっつく。相手にする。(前掲「2-17-24」に同じ。)(《搅在 gháozhái》は結果補語を附加した用法。) 搅在 = 〈搞在〉
11-175-20 ~ 23	“……要不然从前怎么为了一点芝麻大的小事就愠气呢？” 愠气(ōeqī)	(「…中略…そうでなければどうして昔、とるに足りないささやかなことだけでも腹を立てたのだろうか」と。) 愠气: 腹を立てる。(前掲「3-35-10」に同じ。) 愠气 = 〈生气〉
11-175-24、25	世钧听她的口吻可以听得出来，他和曼桢的事情是瞒不过她的，她完全知道了。 瞒(méu)	(世鈞は彼女の口ぶりから聞き分けることができる。彼と曼楨とのことは彼女には隠せないもので、彼女は全部知っていたからだ。) 瞒: 隠す。(「瞒不过」は《瞒勿过 méuvehkū》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 瞒不过 = 〈隐瞒不过〉
11-175-25、26	曼桢住在这里的时候，沈太太倒是一点也没露出来，世钧却低估	(曼楨がこちらに泊まっていた時、沈夫人は自分の気持ちを少しも現さなかった。世鈞は母親を過

	了她，没想到她还有这点 <u>做功</u> 。 做(zū)	小評価し、彼女はこのような自制心があるとは思わなかった。) 做: ~をする。(《做功 zūgōn》: 武術をたしなむ。ここでは自制心があることとして使われている。) 做功 = 〈有涵養〉
11-176-4	沈太太又道: “你爸爸说你不 <u>晓得</u> 可知道顾小姐的底细, ……” 晓得(xiāodek)	(沈夫人はまた、「お父さんは君が顧さんに関する詳しい事情を知っているかどうか分からないと言っていた。…中略…」と言った。) 晓得: 知る。(前掲「7-101-25」に同じ。「不晓得」は《勿晓得 wèkxiāodek》にも使われている。) 不晓得 = 〈不知道〉
11-176-6、7	“……你爸爸也真可笑, 先那么喜欢叔惠, 马上就 <u>翻</u> 过来说不好, 不上进。” 翻(fàn)	(「…中略…お父さんも少し可笑しいね。最初はあんないも叔惠のことを気に入ったのに、すぐに良くないとか向上心がないとかと逆の事を言っている」と言った。) 翻: 引っくり返す。逆の事をする。(《翻过来 fàngūlái》は方向補語を附加した用法。) 翻过来 = 〈反过来〉
11-177-9、10	他舅舅说: “到这么晚了, 还不就住在这儿了。这大冷天, 可别碰见 <u>剥猪猡</u> , 一到年底这种事情特别多。” 剥(bō)	(彼のおじは「こんなに遅くなったので、ここに泊りなさいよ。冬の真っ最中で、身ぐるみごとに剥がされることに出くわしてはならない。年末になると、このようなことが特に多いから」と言った。) 剥: 剥がす。(《剥猪猡 bōkzúlú》とは、衣類も装飾品もすっからかんに強奪されることの比喩表現。) 剥猪猡 = 〈遭抢夺〉
11-178-21、22	许多人家都养着一只鸡 <u>预备</u> 过年, 鸡声四起, 简直不象一个大都市, 而象一个村落。 预备(yhúbhé)	(多くの家にはお正月を迎えるためにみんな一匹の鶏を飼育しているので、四方から“こけこっこ”の鳴き声がすると、まるで大都会でなくて、一つの村のようだ。) 预备: 準備する。(前掲「10-161-26~10-162-1」に同じ。) 预备 = 〈准备〉
11-178-24、25	世钧这天晚上思潮起伏, 也不知道是什么时候才睡熟的。一觉醒来, 看看叔惠还睡得很沉, 褥单上落了很多香烟灰。 醒(xīn)	(世鈞はその晩色々な思いが頭に浮かんで来て、いつになって眠りについたかを知らなかった。ひと眠りから目をさめると、叔惠がまだ熟睡しており、シーツには沢山のタバコの灰が落ちているのを目にした。) 醒: 目を覚ます。(《一觉醒来 yikgāoxīnlái》: ひと眠りから目を覚ます。)
11-179-2、3	世钧问她考学校考取了没有。她母亲笑道: “ <u>考</u> 中了。你这先生真不错。” 考(kāo)	(世鈞は彼女に学校の試験に受かったかどうかを尋ねた。彼女のお母さんは笑って、「受かったよ。君という先生は本当に素晴らしい」と言った。) 考: 試験を受ける。(《考中 kāozōn》は結果補語

		を附加した用法。)考中＝〈考上〉
11-179-12、13	世钧笑道：“叔惠也跟你一样懒，我出来的时候他还没升帐呢。” 升(sèn)	(世鈞は笑って、「叔惠も君と同じような怠け者だ。僕が出かける時にはまだ蚊帳を上げていなかったよ」と言った。) 升:上げる。(《升帳 sènzhāng》:蚊帳を上げる。) 升帳＝〈升蚊帳〉
11-179-13、14	曼桢笑道：“是呀，他也跟我一样的，我们全是职工，象你们做老板的当然不同了。” 做(zū)	(曼楨は笑って、「そうなの、彼も私と同じようで、私たちはみんな従業員だ。あなた方のような経営者とは当然違うんだ」と言った。) 做:～になる。(前掲「11-172-18～20」に同じ。《做老板 zūláobǎn》:社長になる。) 做老板＝〈当老板〉
11-179-26～ 11-180-2	曼桢听了道：“倒真是想不到，我们几个人一块儿高高兴兴地吃饭，哪儿知道后来就演出这样一幕。” 演(yí)	(曼楨は聞いてから、「それは本当に意外だった。私たちは何人か一緒に楽しくご飯を食べていて、その後すぐそのような芝居的一幕が出るとは思ってもよらなかった」と言った。) 演:演じる。(《演出 yíchū》は方向補語を附加した用法。演出＝〈演出来〉)
11-180-17 ～ 19	不过对他们解释这些事情，一辈子也解释不清楚，还不如索性赖得干干净净。 赖(lái)	(しかし、彼らにはこのような事を説明しようとしたら、一生をかけてもはっきりと釈明することができないので、いっその事きっぱりと否定したほうが良い。) 赖:否定する。(《赖得干干净净 láidegānggāngjìngjìng》:きれいさっぱりと否定する。様態補語を附加した用法。) 赖＝〈抵赖〉
11-180-23 ～ 25	曼桢道：“我不是这意思，不过我觉得这样瞒着他也不是事。瞒不住的。……。” 瞒(mán)	(曼楨は「こういう意味ではない。しかしずっと彼に隠したままでは良くない。隠せないから。…中略…」と言った。) 瞒:隠す。(前掲「11-175-24、25」に同じ。「瞒不住」は《瞒勿牢 mánwùlǎo》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 瞒不住＝〈隐瞒不住〉
11-181-11、12	曼桢没等他说完便接口道：“有时候不能不拿点勇气来。” 接(jiē)	(曼楨は彼が言い終わるを待てず、「時にはちょっとした勇気を出さなければならない」と話を継いだ。) 接:(話を)受ける。(前掲「3-44-24」に同じ。《接口 jiēkǒu》:他人の言葉を受けて話す。) 接口＝〈接嘴〉
11-181-17、18	他心里想：你一定懊悔了。你这时候想起慕瑾来，一定懊悔了。 懊悔(àohuē)	(彼は「君はきっと後悔しただろう。こういう時、慕瑾のことを思い出してくるときっと後悔しただろう」と思っていた。) 懊悔:後悔する。(前掲「1-9-15」に同じ。) 懊悔＝〈后悔〉

11-181-19、20	她说：“我并没有觉得灰心，不过我希望你告诉我实话，你究竟还想不想出来 <u>做事</u> 了？……” 做事(zūshì)	(彼女は「私は気落ちなんかしていない。でも私に本当の話を教えて欲しい。結局外に出て仕事をしたいのですか?」と言った) 做事:仕事をする。家事をする。(前掲「2-14-2」に同じ。)做事=〈工作〉
11-182-2、3	曼桢突然把她手上的戒指 <u>脱</u> 下来放在他面前，苦笑着说：“也不值得为它这样发愁。” 脱(tèk)	(曼桢は突然指に嵌めている指輪をはずして彼の前に置き、苦い笑いをしながら、「指輪のためにこんなにも悩んでしまうという事は値しないわね」と言った。) 脱:はずす。((脱下来 tèkhhóláe) は方向補語を附加した用法。)脱下来=〈拿下来〉
11-182-5、6	世钧愣了一会，终于微笑道：“你这是干什么？才在那儿说人家那是演戏，你也要 <u>过过瘾</u> 。” 过瘾(gūyín)	(世鈞はあっけにと取られて暫く経ってようやく微笑みながら、「これは何のためだ？さっき人さまが芝居をしていると言ったが、君も楽しんでみたいの?」と言った。 过瘾:楽しむ;堪能する。((过过瘾 gūxiyín): 思う存分芝居を楽しむ。「过过瘾」は動詞の重ね型の用法。过瘾=〈享受〉
11-182-11、12	但是身上还是发冷，好象身上的肌肉都失掉了控制力似的，出去的时候随手把门一带，不料那房门就“砰”的一声关上了。 带(dāi)	(しかし、体は依然として寒気がして、まるで全身の筋肉がコントロールを失ってしまったようであり、出て行った時、ついでにちょっとドアを閉めただけだが、思いがけずそのドアは“ばたん”とそのまま閉ってしまった。) 带:(ドアを)静かに閉める。(前掲「3-34-5、6」に同じ。)带=〈关〉
11-182-20、21	她向床上一倒，脸伏在枕头上，一口气透不过来， <u>闷</u> 死了也好，反正得压住那哭声，不能让她祖母听见了。 闷(mèn)	(彼女はベッドに倒れると、顔を枕に伏して一息もつかなかった。口がふさがれて死んでしまっても構わない。とにかく祖母に聞こえまいと、何とかその泣き声を抑え込まなければならない。) 闷:息が詰まる。「闷死」は《闷煞 mènshā》にも使われており、結果補語を附加した用法。) 闷死=〈喘不过气〉
11-182-24、25	后来她听见祖母的脚步声上楼来了，忙把一张报纸 <u>拉</u> 过来，预备躺在床上看报，把脸 <u>遮</u> 住了。 拉(lā) 遮(zhē)	(その後、彼女は祖母の2階に上がってきた足音が聞こえたので、急いで一枚の新聞紙を引っ張ってきて、ベッドの上で新聞を読み、顔が見えないようにしようとしていた。) ここでの《预备 yǎnhé》は助動詞の用法。 拉:引っ張る。((拉过来 làgūlái) は方向補語を附加した用法。)拉过来=〈拿过来〉 遮:隠す。見えないようにする。「遮住」は《遮牢 zhēláo》にも使われており、結果補語を附加した用法。)遮住=〈挡住〉
11-183-3~5	老太太道：“……我把米也 <u>淘</u> 多	(おばあさんは「…中略…お米も多めに研いでし

	了，你妈这时候不回来，横是也不见得回来吃饭了。” 淘(dháo)	まったが、君のお母さんはいまだに帰って来ないので、どのみち戻ってきてご飯を食べるとは限らない。) 淘: 研ぐ。(《淘多 dháodū》は結果補語を附加した用法。) 淘多米 = 〈洗多米〉
11-183-6	她只管嘟囔着，曼桢也不接口，自顾自看她的报。 接(jik) 顾(gū)	(彼女はぶつぶつ言っているばかりではあるが、曼桢は話も継がず、構わず新聞を読んでいた。) 接:(話を)受ける。(前掲「3-44-24」に同じ。) 接口 = 〈接嘴〉 顾: 構う。(《自顾自 zīgūzì》: 自分のことだけをする。) 自顾自 = 〈自管自〉
11-183-7~9	她祖母吃力地蹲下地去，在字纸篓里拣废纸去生煤球炉子。 拣(gāe) 生(sàn)	(彼女の祖母は辛そうに地面にしゃがんで、紙くずかごの中から、石炭ストーブの炭団をおこすための紙くずを選んでいった。) 拣: 選ぶ。(前掲「1-6-13」に同じ。) 拣废纸 = 〈挑废纸〉 生:(火を)おこす。(《去生煤球炉子 qīshàn méjhióelúzi》: 石炭ストーブに火をおこしに行く。連動文の用法。) 去生煤球炉子 = 〈去生煤炉〉
11-183-11、12	曼桢只得一翻身坐了起来，笑道：“嗷呀，一定是我刚才扔一张纸，这戒指太大了，一溜就溜下来了。” 溜(liè)	(曼桢は寝返りを打ってすぐ起きて座り、笑って、「あら、この指輪はゆるすぎるから、きっとさっき紙を捨てた時、ちょっと滑り落ちてしまったわ」と言った。) 溜: 滑り落ちる。(《溜下来 lièhóulái》は方向補語を附加した用法。) 溜下来 = 〈滑下来〉
11-183-14 ~ 16	(她祖母)着实数说了她一顿，掀起围裙来将那戒指上的灰尘擦了擦，递过去交给她，她也不能不接着。 掀(xi)	(《彼女の祖母は》厳しく彼女を叱り、エプロンを捲り上げて指輪のほこりを拭き取ってから彼女に渡した。そのため、彼女は受け取らざるを得なかった。) 掀: 捲り上げる。(《掀起 xīqǐ》は方向補語を附加した用法。) 掀起 = 〈撩起〉
11-183-16、17	她祖母又道：“这上头裹的绒线都脏了，你把它拆下来吧，趁早也别戴着了，拿到店里收一收紧再戴。” 拆(cak) 收紧(sòejīn)	(彼女の祖母はまた、「この〈指輪の〉上に巻いてある毛糸は全部汚れてしまったので、毛糸を解きほぐしましょう。早いうちにお店に持って行って、詰めてもらってから嵌めて下さい」と言った。) 拆: 解く。(《拆下来 cakhóulái》は方向補語を附加した用法。) 拆下来 = 〈解下来〉 收紧: ぴったりつめる。(《收一收紧 sòeyiksòejīn》は動詞の重ね型の用法。) 收紧 = 〈縮小〉
11-183-17 ~ 19	曼桢想起世钧从他那件咖啡色的破绒线衫上揪下一截绒线来，替她裹在戒指上的情形，这时候想	(曼桢は世鈞が彼のその茶色でぼろぼろとなっているセーターからひと切れの毛糸をちぎり取って、彼女の指輪に巻いてくれたことを思い出した)

	起来，心里就象万箭攒心一样。” 揪(jiùe)	た。こういう時に思い出すと心が千本の矢に刺されたようだった。) 揪:ちぎる。(前掲「10-165-10~12」に同じ。《揪下来 jiùehhóláe》は方向補語を附加した用法。) 揪下来 = 〈拉下来〉
11-183-25、26	顾太太一回来就说：“我们的门铃坏了，我说怎么揪了半天铃也没人开门。” 揪(qīn)	(顧夫人は帰ってからすぐに、「ドアのチャイムが壊れたので、それで、どうしてずっとチャイムを押してもドアを開けてくれる人が居なかったかが分かった」と言った。) 揪:押す。(前掲「4-55-12」に同じ。「揪了半天铃」:長い時間チャイムを押す。《揪勒半天铃 qīnlekbēutilín》にも使われている。) 揪铃 = 〈按铃〉
11-184-13	老太太道：“你就歇会儿吧——才回来。” 歇(xīe)	(おばあさんは「少し休んでいきなさいよ。——帰ってきたばかりなのに」と言った。) 歇:休む。(前掲「8-122-26」に同じ。) 歇 = 〈休息〉
11-184-18 ~ 20	“……病人反正都是这种脾气，不管是想吃什么，还是想什么人，就恨不得一把抓到面前来；真来了，倒许她又嫌烦了。” 嫌(yhí)	(「…中略…病人はどうせ皆このようなものだ。つまりどんな物が食べたいとか、また誰を思っているとか、待てずすぐに欲しくなる。実現すれば、彼女が却って面倒がるものだ。)」 嫌:嫌う。(《嫌烦 yhíváe》:面倒がる。) 嫌烦 = 〈怕麻烦〉
11-185-1、2	揪揪铃没有人开门，他也许想着是有意不开门，就会走了。 揪(qīn)	(ちょっとチャイムを押すとドアを開けてくれる人が居ないと、彼はわざと開けてくれないと思って、すぐに行ってしまうのであろう。) 揪:押す。(前掲「4-55-12」に同じ。《揪揪 qīn qīn》は動詞の重ね型の用法。) 揪揪铃 = 〈按按铃〉
11-185-11~ 13	有这踌躇的工夫，就听出来了，原来是厨房里“哆哆哆哆”斩肉的声音——还当是有人敲门。她不禁惘然了。 斩(zāe) 当(dān)	(躊躇している間に聞き分けることができた。何と台所の「とんとんとんとん」という肉をたたいている音だった。—彼女はてつきりドアを叩かれると思っていたので、茫然とせずにはいらなかった。) 斩:たたく。(《斩肉 zāeniök》:肉をたたく。) 斩肉 = 〈剁肉〉 当:~と思う。(「4-62-18」に同じ。) 当 = 〈以为〉
11-185-14、15	她祖母突然在那边嚷了起来道：“你快来瞧瞧，你妈扭了腰了。” 扭(niòe)	(彼女の祖母は突然そこで大声で叫び出して、「早く見に来て、君のお母さんがぎっくり腰になったよ」と。) 扭:くじく。(《扭腰 niòeyào》:ぎっくり腰になる。) 扭腰 = 〈闪腰〉
11-185-20、21	曼桢道：“好了好了，妈，还不去躺下歇歇。”便撵她去躺在床	(曼桢は「分かった、分かった。お母さん、早く行って横になって休まないの」と言い、すぐに手で

	上。 歇(xīk) 搀(cān)	母親を支えながらベッドで横たわるように行かせた。)歇: 休む。(前掲「8-122-26」に同じ。《歇歇 xīk xīk》は動詞の重ね型の用法。)歇歇 = 〈休息休息〉搀: 手で支える。(前掲「9-149-13, 14」に同じ。)搀 = 〈扶〉
11-185-21, 22	老太太道: “我看你倒是得找个伤科大夫瞧瞧, 给他 <u>扳一扳</u> 就好了。” 扳(bàn)	(おばあさんは「外科医を見つけ、診察してもらって、医者にちょっとひねって戻してもらえば良いのだ」と言った。)扳: ひねって戻す。《扳一扳 bàeyikbàe》は動詞の重ね型の用法。)扳一扳 = 〈拉一拉〉
11-186-4, 5	老太太笑道: “你来正好, 你表舅母 <u>扭</u> 了腰, 你给她瞧瞧”。 扭(niòe)	(おばあさんは笑って、「ちょうど良い時に来た。あなたのおばがぎっくり腰になったので、ちょっと診てあげて下さい」と言った。)扭: くじく。(前掲「11-185-14, 15」に同じ。《扭腰 niòeyào》: ぎっくり腰になる。)扭腰 = 〈閃腰〉
11-186-5, 6	顾太太忙 <u>撑起</u> 半身, <u>拥被</u> 坐着。 撑(càn) 拥(yòng) 坐(zú)	(顧夫人は急いで上半身を支えながら起きて、布団にくるまって座ったままだった。)撑: 支える。《撑起 cànqǐ》は方向補語を附加した用法。)撑起 = 〈支撑起〉《拥被坐着 yòngbèizúzhē》: 布団にくるまって座ったまま。)拥被坐着 = 〈拥被而坐〉
11-186-7, 8	慕瑾闻知她是洗衣服洗多了, 所以 <u>扭</u> 了腰, 便道: “可以拿热水 <u>渥渥</u> , 家里有松节油没有, 拿松节油多擦擦就好了。” 扭(niòe) 渥(wū)	(慕瑾は彼女が洗濯物を洗い過ぎたため腰をくじいた事を聞いて、「お湯で温めれば良い。家にはテレビン油ありますか。テレビン油を多めに塗ればすぐ良くなりますよ。」と言った。)扭: くじく。(前掲「11-185-14, 15」に同じ。《扭腰 niòeyào》: ぎっくり腰になる。)扭腰 = 〈閃腰〉渥: 暖める。《渥渥 wūwū》は動詞の重ね型の用法。)渥渥 = 〈焔焔〉
11-186-15, 16	顾太太见了, 便笑道: “哦, 要请我们 <u>吃喜酒</u> 了!” 吃(qīk)	(顧夫人は会うとすぐ笑って、「ああ、もうすぐ結婚の祝い酒をご馳走してくれるよね」と言った。)吃: 飲む; 食べる。(前掲「1-3-20」に同じ。《吃喜酒 qīkxǐjiō》: 結婚の祝い酒を飲む; 結婚披露宴に出る。)吃喜酒 = 〈喝喜酒〉
11-187-3	她向慕瑾笑着道: “你们预备结了婚在上海 <u>耽搁</u> 些时吗?” 耽搁(dàegok)	(彼女は慕瑾に笑いながら、「結婚されてから上海に何日か留まるつもりですか」と聞いた。)ここでの《预备 yǎhúhé》は助動詞の用法。耽搁: 留まる。耽搁 = 〈逗留〉
11-187-7~9	她尽管笑容满面, 笑得两块面颊都 <u>发酸</u> 了, 慕瑾还是觉得她今天有点异样, ……	(彼女は満面笑みで、両頬がだるくなるくらい笑っていたにもかかわらず、それでも慕瑾は今日の彼女はいつもと少し違うように思えた。…中略…)

	发酸(fáksàu)	发酸:だるくなる。发酸＝〈疼痛〉
11-187-19、20	她把被窝一掀，两只脚踩在地上去找鞋子，连声说：“是谁来了？叫他上来。” 掀(xi)	(彼女は布団をぱっと払い除けて起き上がり、両足を地面に踏んで靴を探し、続けざまに「誰が来たの？彼に上がってもらって」と言った。) 掀：払い除ける。掀＝〈翻〉
11-187-25、26	顾太太便和曼桢说：“你也跟我一块儿去。”曼桢应了一声，搀着她慢慢地站起来，……。 搀(càe)	(顧夫人はすぐ曼桢に、「私と一緒に行きましょう」と言った。曼桢は一言“はい”と言って、母親に手を貸してゆっくり立たせた。…中略…) 搀：手を貸す。(前掲「9-149-13、14」に同じ。「搀着」は《搀勒 càelek》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 搀着＝〈扶着〉
11-188-4、5	但是顾太太熬不住，这时候早已一一告诉他了。 熬(bik)	(しかしこの時顧夫人は我慢できず、とっくに一つ一つにして彼に教えた。) 熬：我慢する。(「熬不住」は《熬勿牢 bikvèkláo》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 熬不住＝〈忍不住〉
11-188-9	她母亲说着说着，眼泪就滚下来了。 滚(guēn)	(彼女の母は話しているうちに涙が流れ落ちていた。) 滚：流れる。(《滚下来 guēnhhóláe》は方向補語を附加した用法。) 滚下来＝〈流下来〉
11-188-13 ～ 15	她们马上要去探望病人去了，他在这儿也是耽搁人家的时间，他匆忙地跟她们点了个头就走了。 耽搁(dàegok)	(彼女たちはすぐ病人をお見舞いに行かなければならない。彼はここに居ても人様の時間を無駄にするだけだと思い、急いで彼女たちにちょっと会釈してすぐ離れた。) 耽搁：時間を無駄にする。耽搁＝〈耽误〉
11-189-10	曼桢伸手去搀她母亲，道：“妈，在沙发上靠靠吧。” 搀(càe) 靠(kāo)	(曼桢は手を伸ばして母親の体を助けてやって、「お母さん、ちょっとソファにもたれて下さい」と言った。) 搀：手を貸す。(前掲「9-149-13、14」に同じ。) 搀＝〈扶〉 靠：もたれる。(《靠靠 kāokāo》は動詞の重ね型の用法。) 靠靠＝〈倚靠倚靠〉
11-189-10、11	曼璐却很留心，问了声：“妈怎么了？”曼桢道：“刚才扭了下子腰。” 扭(nioè)	(曼璐は却ってとても気にかけており、「お母さんはどうしたの？」と聞いた。曼桢は「さっき、ちょっと腰をくじいてしまった」と言った。) 扭：くじく。前掲「11-185-14、15」に同じ。) 扭腰＝〈閃腰〉
11-189-11 ～ 13	曼璐在床上仰着脸向她母亲说道：“其实先晓得——你不用来了，有二妹在这儿——也是一样。” 晓得(xiāodek)	(曼璐はベッドで顔を上に向いて母親に「実を言うともし先に知っていれば——母さんは来なくても良かった。二番目の妹がこちらに居れば——同じことだわ」と言った。) 晓得：知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得＝〈知道〉

11-189-13、14	顾太太道：“我这有什么要紧，一下子使岔了劲了，歇歇就好了。” 歇(xīk)	(顧夫人は「私なんか大丈夫だ。いきなり力を入れたら外れてしまった。よく休めばすぐ治るものだ」と言った。) 歇: 休む。(前掲「8-121-26~8-122-1」に同じ。《歇歇 xīk xīk》は動詞の重ね型の用法。) 歇歇 = 〈休息休息〉
11-189-20、21	阿宝送茶进来，顺手把电灯捻开了。 捻(ni)	(阿宝はお茶を持ってきて、ついでに電気スタンドをひねってつけた。) 捻: ひねる。(前掲「7-96-26」に同じ。《捻开 nīkài》は結果補語を附加した用法。) 捻开 = 〈开开〉
11-190-12、13	她存心要替女儿造福的念头，极力应酬那孩子，只管忙着替她挟菜，……。 挟(ji)	(彼女はわざと娘に幸せをもたらそうと思って、精一杯その子どもをもてなし、ひたすらその子にお菜を取ってあげている。…中略…) 挟: はさむ; 取る。(前掲「5-18-1」に同じ。《挟菜 ji cāe》: 料理を挟む。料理を勧める。) 挟菜 = 〈夹菜〉
11-190-25~11-191-1	顾太太倒是也想回去好好地歇歇。平常在家操劳惯了，在这里住着，茶来伸手，饭来张口，倒觉得很不对劲，昨天在这里住了一天，已经住怕了。 歇(xīk) 来(lái) 住(zhí)	(顧夫人も家に戻ってからしっかり休もうと思っていた。普段家であくせくと働くことに慣れているのに、ここに泊まっていると、お茶が欲しければ手を伸ばせば飲めるし、ご飯が食べたければすぐ食べられる。しかし、何か違和感があり、昨日ここで一晩泊まっただけでも、もうまいってしまった。) 歇: 休む。(「8-121-26~8-122-1」に同じ。《歇歇 xīk xīk》は動詞の重ね型の用法。) 歇歇 = 〈休息休息〉 《茶来伸手 zhólái sènsōe, 饭来张口 váelái zànkōu》: 何でもお手伝いさんにやってもらえるような裕福な暮らしをする人の形容。 住: 泊まる; 住む。(《住怕 zhípō》は結果補語を附加した用法。) 住怕 = 〈住厌〉
11-191-2	顾太太到曼璐房里去和她作别，……。 作别(zokbiē)	(顧夫人は曼璐の部屋へ別れを言いに行った。…中略…) 作别: 別れを告げる。作别 = 〈告別〉
11-191-4	顾太太说“对了，我倒忘了，还得拿热水渥。” 渥(wū)	(顧夫人は「そうだ、忘れてしまった。まだお湯で温める必要がある」と言った。) 渥: 暖める。(前掲「11-186-7、8」に同じ。) 渥 = 〈焔〉
11-191-5~7	想起慕瑾，她忽然想起另一件事来，便悄悄地和曼桢说：“明天吃喜酒你去不去呀？我想你顶好去一趟。” 吃(qik)	(彼女は慕瑾のことを思い出すと、突然もう一つの事も思い出してきて、そして声をひそめて曼桢に「明日の結婚披露宴に出るの？できれば行ってきたほうが良いと思う。」と言った。) 吃: 飲む; 食べる。(前掲「10-161-4、5」に同じ。)

		《吃喜酒》:結婚披露宴に出る。) 吃喜酒=〈喝喜酒〉
11-191-9	曼璐却又听见了, 问: “吃谁的喜酒? 吃(qík)	(曼璐がまた聞こえたので、「誰の結婚披露宴に出るの?」と聞いた。) 吃: 飲む; 食べる。(前掲「10-161-4、5」に同じ。) 吃喜酒=〈喝喜酒〉
11-191-6~8	他们在这里给她预备下了一间房, 阿宝带她去, 先穿过一间堆家具的房间, 就是曼璐从前陪嫁的一堂家具, 现在另有了好的, 就给刷下来了, ……。 预备(yhúbháe) 刷(sak)	(彼らはここで彼女に一つの部屋を用意し、阿宝が彼女を連れて行き、最初は家具を積んでいる部屋を通り抜けた。それは曼璐が以前嫁入り道具とした一セットの家具ではあるが、いまは他の立派なものがあつたので、しまわれていた。…中略…) 预备: 準備する。(前掲「10-161-26、10-162-1」に同じ。《预备下》は方向補語を附加した用法。) 预备下=〈准备好〉 刷: 排除する。(《刷下来 sakhhóláe》は方向補語を附加した用法。) 刷下来=〈搬下来〉
11-192-19 ~ 23	曼桢突然想起慕瑾初到上海来的时候, 每夜被嘈杂的市声吵得不能安眠, 她恰巧和他掉了个过。 掉过(dhiáogū)	(曼桢は突然慕瑾が初めて上海に来た頃、毎晩町の音で眠れないほど騒がされた事を思い出した。今の自分は丁度彼の当時の状況と入れ替わつたのだ。) 掉过: 入れ替わる。掉过=〈掉头〉
11-192-19 ~ 23	一想起慕瑾, 今天一天里面发生得无数事情立刻就又一哄而上, 全到眼前来了, 颠来倒去一样一样要在脑子里过一过。 哄(hòn) 颠来倒去(diláedāoqī) 过(gū)	(慕瑾の事を思うと、今日一日起きた無数の出来事を再びすぐにどっと思ひ出して、全部目の前に浮かんできて、繰り返し一つずつ脳裏を通り抜けていく。) 哄: どっと多くの事を思ひ出す。 颠来倒去: 同じことを何度も繰り返して行う。(前掲「9-148-12」に同じ。) 颠来倒去=〈反反复复〉 过: 通り抜ける。(《过一过 gūyikgū》は動詞の重ね型の用法。) 过一过=〈走一走〉
12 章-194 頁 -10、11 行	鸿才道: “不是, 你没看见她那样子, 简直象发了疯似的! 早晓得她是这个脾气, ——……。” 发疯(fakfòn) 晓得(xiāodek)	(鴻才は「そうじゃないけど。彼女のその様子を見ていたら。まるで発狂したようだった。最初から彼女のこの性格を知っていたら——……中略…」と言つた。) 发疯: 発狂する。发疯=〈精神错乱〉 晓得: 知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得=〈知道〉
12-194-11 ~ 13	曼璐不等他说完便剪断他的话道: “我就是因为晓得她这个脾气, 所以我说办不到, 办不到。你还当我是吃醋, 为这个就跟我像仇人似的。”	(曼璐は彼が言い終わらないうちに彼の話をさえぎって、「私は彼女のこのような性格を知っているから、できない、できないと言つたが、私が嫉妬していると思われていたらしくて、そのため私のことを仇のようにも思われていた」と言つた。)

	剪断(jiǎnduàn) 晓得(xiǎodek) 吃醋(qīkū)	剪断: さえぎる。剪断＝<截断> 晓得: 知る。(前掲「7-101-25」に同じ。) 晓得＝<知道> 吃醋: 嫉妬する。吃醋＝<嫉妒>
12-195-3、4	曼璐道: “那只好多关几天, 捺捺她的性子。” 捺(nǎk)	(曼璐は「彼女の強情な性格をちょっと押さえるため、何日間か長めに閉じこめても仕方のないことだ」と言った。) 捺: 押さえる。(《捺性子 nǎkxīnzī》: 強情さを押さえる。《捺捺 nǎknǎk》は動詞の重ね型の用法。) 捺性子＝<压性子>
12-195-4～6	曼璐微笑道: “还能关她一辈子? 哪天她养了孩子了, 你放心, 你赶她走她也不肯走了, 她还非得告诉你遗弃呢!” 养(yán)	(曼璐は微笑みながら、「一生彼女を閉じこめる事ができるはずもない。安心しなさい。いつか彼女が子どもでも生まれたら追い払おうとしても出て行きたがらなくなる。その時、捨てられると告訴されるわよ。」と言った。) 养: 生む。生まれる。(「养孩子」: 子どもを産む。《养小囡 yánxiǎonéu》にも使われている。) 养孩子＝<生孩子>
12-195-8	(鸿才)又道“不过照她的脾气, 你想她真肯做小吗?” 做(zū)	(《鸿才》は)また「しかし、彼女の性格からいうと、本当に妾になることを了承してくれるのだろうか?」と言った。 做: ～になる。(「做小」: 妾になる。《做小老婆 zūxiǎoláopó》にも使われている。) 做小＝<当小老婆>
12-195-10、11	鸿才知道她这是气话, 忙笑道: “你这是什么话? 由我这儿起就不答应! 我以后正要慢慢补报你呢, ……” 补报(būbào)	(鸿才)はこれは彼女の捨てぜりふと言うことを知っており、すぐに笑って、「何を言ってるの。先ず私が承諾しないよ。これからよく埋め合わせてあげるから。…中略…」と言った。 补报: 埋め合わせる; 報いる。补报＝<补偿>
12-195-12、13	曼璐笑道: “好了好了, 别哄我了, 少给我点气受就得。” 哄(hōn)	(曼璐)は笑って、「もういい、もういい。上手いことを言わないで。あまり腹を立てさせなければそれで良い」と言った。 哄: 機嫌を取る。哄＝<讨好>
12-195-15 ~ 17	(曼璐)道: “你也只配人家这样对你。谁要是一片心都扑在你身上, 准得给你气伤心了! 你说是不是, 你自己摸摸良心看!” 扑(pōk) 气(qī) 摸(mōk)	(《曼璐》は)「人様からこのような仕打ちをされるのに値するわ。誰かがあなたに満腔の気持ちを集中したら、間違いなくひどく腹を立ててしまうわ。そうでしょう。自分の良心に聞いてみて下さい」と言った。 扑: 集中する。(《扑在 pōkzháe》は結果補語を附加した用法。) 扑在＝<放在> 气: 腹を立てる。(《气伤 qīsàn》: ひどく腹を立てる。結果補語を附加した用法。) 气伤＝<气死> 摸: (手で)触れる。(《摸摸良心 mōkmōklián》)

		xìn):良心に聞く。「摸摸」は動詞の重ね型の用法。)摸摸良心=〈问问自己的良心〉
12-196-6、7	曼璐忍不住噗嗤一声笑道：“走吧走吧，你当我就这样爱戴高帽子。” 当(dān) 戴(dā)	(曼璐は我慢ができず、ぷっと笑い出して、「もう行って、行って、こんなにおだてられるのが好きとでも思っているの」と言った。) 当: ~と思う。(前掲「4-62-18」に同じ。) 当=〈以为〉 戴:かぶせる。(《戴高帽子 dāgàomáozǐ》:おだてる。)戴高帽子=〈捧场〉
12-196-9、10	曼璐也手忙脚乱的先把头发打散了，揉得像鸡窝似的，又捞起一块冷毛巾，胡乱擦了把脸，……。 打(dān) 捞(lāo)	(曼璐もてんでこ舞いに先ず髪の毛をぼさぼさにして、揉んで鶏の巣のようにして、そして冷たいタオルをすくい上げて、適当に顔を拭いた。…中略…) 打:はずす。(《打散 dānsāe》:〈縛っているものを〉ばらばらにする。結果補語を附加した用法。) 打散=〈拆散〉 捞:すくう。(《捞起 lāoqǐ》:すくい上げる。方向補語を附加した用法。)捞起=〈拿起〉
12-196-20、21	曼璐道：“妈，你都不知道，就为了她，我急得都厥过去了，要不是医生给打了两针强心针，这时候早没命了！” 厥(jué)	(曼璐は「お母さん、お母さんこそ知らなかったが、彼女のために気をもみすぎて気絶してしまいそうだったわ。お医者さんに強心剤二本を打ってもらわなければ、とっくにもう死んでいるよ。」と言った。) 厥:気絶する。(《厥过去 juéguòqǐ》は方向補語を附加した用法。)厥过去=〈昏过去〉
12-198-7~9	曼璐道：“妈，我看你这时候还是先别跟她见面，她那脾气你知道的，你说的话她几时听过来着，现在她又是正在火头上。” 听(tīn)	(曼璐は「お母さん、こういう時はやはりまだ彼女に会わないほうが良いと思う。彼女の性格はお母さんも知っているように、いつお母さんが言っていることを聞き入れたことがあったの。ましてや今はちょうどかんしゃくを起こしているところだよ。」と言った。) 听:聞く。(《听过 tīngū》は動態助詞を附加した用法。)
12-198-14、15	曼璐见她呆呆的不作声，便道：“妈，你先别着急，再等两天，等她火气下去了些，那时我们慢慢劝她，……” 下去(hóuqǐ)	(曼璐は母親がぼかんとして黙っているのを見て、「お母さん、取り合えず心配しないで下さい。あと何日か待って、彼女の腹の虫が少しおさまってから、その時ゆっくり彼女を説得する。…中略…」と言った。) 下去:おさまる;ひく。(《火气下去 huǒqìhóuqǐ》:腹の虫がおさまる。)火气下去=〈消気〉
12-199-6~8	曼璐微笑道：“你们昨天说要去吃喜酒，就是吃他的喜酒呀？这又瞒着我干吗？”	(曼璐は微笑んで、「昨日あなた達が結婚披露宴に出ることになったと言っているのは彼の結婚披露宴に出ることだったのね。それなのにどうして

	吃(qík) 瞒(méu)	私に隠す必要があったの?」と言った。) 吃: 飲む; 食べる。(前掲「10-161-4、5」に同じ。《喝喜酒 qíkxǐjiō》: 結婚披露宴に出る。) 吃喜酒 = 〈喝喜酒〉 瞒: 隠す。(前掲「11-175-24、25」に同じ。「瞒着」は《瞒勒 méulek》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 瞒着 = 〈隐瞒着〉
12-199-17、18	曼璐只管沉沉地想着, 把床前的电话线握在手里玩弄着, 那电话线圆滚滚的象小蛇似的被她匝在手腕上。 匝(zak)	(曼璐はひたすら黙ったまま考え込んで、ベッドの前の電話機のコードを手に握りながらいじっていて、そのころころとしたコードを蛇の子のように彼女に手首に巻きつけていた。) 匝: 結ぶ; 巻きつける。(前掲「10-165-9、10」に同じ。《匝在(zakzháe)》は結果補語を附加した用法。) 匝在 = 〈扎在〉
12-200-15 ~ 17	…… “妈这么大年纪了, 实在不该再做这样重的事, 昨天就是累的, 把腰都扭了。你都不知道, 我听了心里不知多难受呢!” 扭(niòè)	(…中略…「お母さんはもうこんなに年をとったから、これ以上このような重い家事をしたらだめだよ。昨日は疲れたからぎっくり腰になったわけ。お母さんには分からないでしょうが、私はこのことを聞いてどれくらい辛い思いをしたか」と言った。) 扭: くじく。(前掲「11-185-14、15」に同じ。) 《扭腰 niòeyào》: ぎっくり腰になる。) 扭腰 = 〈閃腰〉
12-200-22、23	让小陶搭她的车一同走。 搭(dak)	(陶君に彼女の車に便乗して一緒に行かせる。) 搭: 便乗する。(《搭车 dakcò》: 車に便乗する。) 搭车 = 〈搭坐车〉
12-201-1	她一揪铃, 是刘家的老妈子来开门, ……。 揪(qīn)	(彼女がチャイムを押すと、劉家の年寄りの女中がドアを開けてくれた。…中略…) 揪: 押す。(前掲「4-55-12」に同じ。《揪铃 qīnlín》: チャイムを押し。) 揪铃 = 〈按铃〉
12-201-18	那老妈子道: “那倒不晓得, 昨天没住在这儿。” 晓得(xiāodek)	(その年寄りの女中は、「それは知らないわ。昨日こちらには泊まらなかったからだ」と言った。) 晓得: 知る。(前掲「11-176-4」に同じ。「不晓得」は《勿晓得 vēkxiāodek》にも使われている。) 不晓得 = 〈不知道〉
12-202-18、19	再说, 他们年轻人的事, 都是拿不准的。 拿(nàe)	(それに、彼らのような若者のことだから、どれもはっきり掴められないものだ。) 拿: つかむ。「拿不准」は《拿勿准 nàevěkzēn》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 拿不准 = 〈吃不准〉
12-202-23	人的理智, 本来是不十分靠得住的, ……。 靠(kāo)	(人間の理性は、本来なら十分に頼れるものではない。…中略…) 靠: 頼る。(靠得住 kāodekzí) は可能補語を附加した用法。) 靠得住 = 〈信用得住〉

12-202-26~ 12-203-2	也不知道是因为手汗还是手颤，那钥匙开来开去也开不开，结果还是世钧代她开了。 开(kāe)	(手に汗をかいているためか、それとも手が震えている性かが分からないが、その鍵で何回も開けようとしたが開かず、結局世鈞が代わりに開けてくれた。) 开：開ける。(《开来开去(kāeláekāeqī)》:何回も繰り返して開ける。「开不开」は《开勿开kāevèkkāe》にも使われており、可能補語を附加した用法。) 开来开去 = 〈左开右开〉
12-203-2	两人走进房间，世钧便搭讪着问道：“老太太也出去了？” 搭讪(daksài)	(二人が部屋に入ってから、世鈞は取りとめもない話をしながら、「おばあさんも出かけられましたか？」と聞いた。) 搭讪：取りとめもない話をする。(「前掲 1-10-3」に同じ。《搭讪着 daksàizhě》は動態助詞を附加した用法。)搭讪着 = 〈搭着话〉
12-203-4、5	她去给世钧倒茶，世钧忙道：“不要倒了，伯母歇着吧。” 歇(xik)	(彼女は世鈞にお茶を入れに行こうとし、世鈞は慌てて、「お茶を入れて頂かなくても結構です。おばさん、手を休めて下さい」と言った。) 歇：休む。(前掲 8-121-26~8-122-1)に同じ。) 歇 = 〈休息〉
12-203-8、9	顾太太道：“没什么要紧。过两天等她好了叫她给你打电话。你在上海总还有几天耽搁？” 耽搁(dàegok)	(顧夫人は「大したことはない。数日経って彼女が良くなったらあなたに電話を掛けさせます。上海であと何日間か留まれるでしょう。」と言った。) 耽搁：留まる。(前掲「11-186-3」に同じ。) 耽搁 = 〈逗留〉
12-203-13、14	世钧看她那样子分明是有意隐瞒，觉得十分诧异。 隐瞒(yīnméu)	(世鈞は彼女の様子を見て明らかに故意に隠そうと知り、とても不思議に感じた。) 隐瞒：隠しごまかす。 隐瞒 = 〈掩饰〉
12-203-24、25	世钧去掀铃，铁门上一个小方洞一开，一个男仆露出半张脸来。 掀(qīn)	(世鈞はチャイムを押しに行き、鉄の門には小さな正方形の穴が開いていて、ある下男は半分ほどの顔を出してきた。) 掀：押す。(前掲「4-55-12」に同じ。《去掀铃 qīqīnlín》は連動文の用法。) 去掀铃 = 〈去按铃〉
12-204-2、3	但是世钧在外面等了很久的时候，也没有人来开门。他很想再掀一掀铃，又忍住了。 掀(qīn)	(しかし、世鈞は外で長らく待っていてもドアを開けてくれる人が居なかった。彼はもう一度ちょっとチャイムを押したくてはまた我慢した。) 掀：押す。(前掲「4-55-12」に同じ。《掀一掀 qīn yīqīn》は動詞の重ね型の用法。) 掀一掀 = 〈按一下〉
12-204-14	他站在那里发了一会怔，便又举手拍门。	(彼はそこで暫くぼんやりし、すぐにまた手を上げてドアをたたいた。)

	拍(pák)	拍：たたく。(《拍门 pákmén》：ドアをたたく。) 拍门＝〈敲门〉
12-204-23、 24	阿宝道：“太太叫你们都进去，有话 <u>关照</u> 你们。” 关照(guàezāo)	(阿宝は「奥様がみんなに入ってもらって、言い付けたいことがある」と言った。) 关照：言いつける。关照＝〈嘱咐〉
12-205-9、10	阿宝轻声道：“一定是冻的——给她 <u>砸破</u> 那扇窗子，直往里面 <u>灌</u> 风。 灌(gēu)	(阿宝は低い声で、「きっと冷えたわ。——彼女に割られたその窓から中に風がしきりに吹き込んでいる」と言った。) 灌：吹き込む。(《灌风 gēufòn》：風を吹き込む。) 灌风＝〈吹进风〉
12-206-6、7	曼璐道：“二妹，这不是 <u>赌气</u> 的事。……” 赌气(dūqī)	曼璐は「妹よ、これは怒って意地になることではないよ…中略…」と云った。 赌气：怒って意地になる。赌气＝〈意气用事〉
12-206-6、7	她 <u>拣</u> 起一块锋利的磁片，道：“你去告诉祝鸿才，他再来可得小心，我有把刀在这儿。” 拣(gāe)	(彼女はひと欠けらの鋭い磁器を拾いあげて、「祝鴻才に伝えてくれ。これ以上近づいたら気をつけろ。こちらにはナイフを持っているから。」と云った。 拣：拾う。(《拣起 gāeqī》：拾い上げる。方向補語を附加した用法。) 拣起＝〈捡起〉
12-207-23～ 25	……曼桢究竟 <u>发</u> 着热，身上虚飘飘的，被曼璐一 <u>甩</u> ，她连退两步，然后一 <u>跌</u> 出去多远，坐在地下，一只手正 <u>揷</u> 在那只破碗的碎片上，不禁 <u>哎哟</u> 了一声。 发(fak) 甩(huak) 跌(dik) 揷(qīn)	(…中略…曼桢はやはり熱が出ており、体がふらふらとしているので、曼璐に振り回されたら二歩あとへ退って、そしてつまずくと遠くまで転んでいって、地面にしゃがんでたら、片手がちょうどあの割れたお椀の破片の上に押ししまい、思わず“痛い”と一言を發した。) 发：起こる。(《发热 faknīk》：熱がでる。) 发热＝〈发烧〉 甩：振り回す。(「1-3-21」に同じ。) 一甩＝〈一挥〉 跌：つまづく；転がる。(《跌出去 dikcekqī》は方向補語を附加した用法。) 跌出去＝〈摔出去〉 揷：押す。(前掲「4-55-12」に同じ。《揷在 qīnzhái》は結果補語を附加した用法。) 揷在＝〈按在〉
12-208-4、5	她的贞操观念当然和从前的女人有些不同，她并不觉得她有什么 <u>愧对</u> 世钧的地方，…… 愧对(kuèdē)	(彼女の貞操観念は当然昔の女性とは少し異なっており、彼女は世鈞にどうしても合わせる顔がないとは決して思っていない。…中略…) 愧对：合わせる顔がない。愧对＝〈愧待〉
12-208-24～ 26	是预备在外房的房门上开一扇小门，可以从小门里面送饭，可是曼桢并不知道他们是干什么，猜着也许是把房门 <u>钉死</u> ，把她 <u>当</u> 疯子那样关起来。 钉(dìn)	(外の部屋のドアに小さな窓を開けるつもりで、そこからご飯を入れることができる。しかし曼桢は彼らが何をしているかを知らず、部屋のドアを釘づけにして、自分を狂人と見なされて、閉じ込められるかもしれないと思っていた。) ここでの《预备 yhubé》は助動詞の用法。

	当(dàn)	钉: 釘を打つ。「钉死」は《钉煞 dīnsak》にも使われており、結果補語を附加した用法。 钉死 = 〈钉住〉 当: ~と見なす。《当疯子 dàn fōng zǐ》: 狂人と見なす。当疯子 = 〈看做疯子〉
12-208-26 ~12-209-1	那钉锤一声一声敲下来, 听着简直锥心, 就象是钉棺材板似的。 锥(zèu) 钉(dìn)	(あの金槌で打っているとんとんという音は、聞いていると心に刺されているようで、まるで棺桶の蓋を釘付けているようだった。) 锥: 刺す。(《锥心 zèu xīn》: 心を刺す。) 锥心 = 〈刺心〉 钉: 釘を打つ。(前掲「12-208-24~26」に同じ。《钉棺材板 dīng gēu zhāi bān》: 棺桶の蓋を釘付ける。)
12-210-4、5	她本来是时刻戒备着的, 和衣躺着, 连鞋也没脱, 便把被窝一掀, 坐了起来, …… 掀(xì)	(彼女は元々時々刻々警戒しており、服を着たまま横たわり、靴でさえも脱いでいなかったのので、布団をぱっと払い除けてすぐ起き上がってきた。…中略…) 掀: 払い除ける。(前掲「11-186-19、20」に同じ。) 掀 = 〈翻〉
12-210-16~ 18	她一眼看见门上新装了一扇小门, 小门里面安着个窗门, 上面搁着一只漆盘, 托着一壶茶, 一只茶杯, 一碟干点心。 安(āe) 搁(gok) 托(tok)	(彼女はドアには新しく小さな門が作られて、小さな門の中には一つの窓が作られており、上には漆器のお盆が置かれて、中には急須一杯のお茶、湯呑み一つと小皿に入れたお菓子載せているのがひと目で見えた。) 安: 取り付ける。「安着」は《安勒 àlek》にも使われており、動態助詞を附加した用法。 安着 = 〈装着〉 搁: 置く。(前掲「9-139-14」に同じ。「搁着」は《搁勒 goklek》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 搁着 = 〈放着〉 托: 物で支えるようにして物を載せる。「托着」は《托勒 toklek》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 托着 = 〈放着〉
12-210-25、26	再喝了一口, 简直难吃, 实在有点犯疑心, 就搁下了。 搁(gok)	(もうひと口飲んだが、なんとまずくて、本当に少しで疑いたくなるくらいなので、置いていた。) 搁: 置く。(前掲「9-139-14」に同じ。《搁下 gok hō》は方向補語を附加した用法。) 搁下 = 〈放下〉
12-211-9、10	她想她一定是病得很厉害, 要不然阿宝怎么不在楼下做事, 去到楼上来守着病人。 做事(zūsi) 守(sōe)	(彼女は自分がきつとひどい病気になっているのだ、そうでなければ阿宝は どうして一階で家事をせず、二階で病人を看護しているかと思っていた。) 做事: 家事をする。仕事をする。(前掲「2-14-2」

		<p>に同じ。)做事＝〈做家务〉 守：見守る。「守着」は《守勒 sōelek》にも使われており、動態助詞を附加した用法。) 守着＝〈看护着〉</p>
12-211-25 ～ 12-212-1	<p>阿宝织着绒线，把竹针倒过来<u>搔</u>了搔头皮，露出那踌躇的样子，微笑道：“二小姐，我们吃人家的饭的人，只能东家叫怎么就怎么，二小姐是明白人。” 搔(zào)</p>	<p>(阿宝は編み物を編んでおり、竹の編み棒を逆さまにしてちょっと頭を搔き、躊躇さを現して微笑んで、「お嬢さん、我々は雇われる身なので、雇い主に言われた通りにやるしか仕方がない。お嬢さんも物分りのよい方ですね」と言った。 搔：搔く。(《搔了搔 zàolekzào》は動詞の重ね型の過去形の用法。)搔头皮＝〈挠头皮〉</p>
12-212-11、12	<p>……她要是嫌不好，就算是抵押品，将来我再拿钱去<u>赎</u>。 赎(shōk)</p>	<p>(…中略…もし彼女にそれでもまだ気に入ってもらえなければ、抵当品としても構わない。いつか自分がお金で請け出せばいいんだ。) 赎：請け出す。(《去赎 qīshōk》は連動文の用法。)去赎＝〈去贖当〉</p>
12-212-21、22	<p>她一提到世钧，已是顺着脸<u>滚</u>下泪来，因把头<u>别</u>了过去。 滚(gūen) 别(bhīk)</p>	<p>(彼女は世鈞のことに触れると、涙がもう顔の頬をつたって流れてきたので、頭の向きを向こうのほうへ変えた。) 滚：流れる。(前掲「11-188-9」に同じ。「滚下泪来」は《滚下眼泪水来 gūenhhógháelīksiláe》にも使われており、方向補語を附加した用法。) 滚下来＝〈流下来〉 别：(方向を)変える。(前掲「10-168-11、12」に同じ。《别过去 bhīkgūqī》は方向補語を附加した用法。)别过去＝〈转过去〉</p>
12-212-26 ～12-213-1、 2、3	<p>阿宝把地下的香烟头和报纸都<u>拾</u>起来，又把梳妆台上的东西整理了一下，<u>敞</u>开的雪花膏缸一只一只都盖好，又把刷子上粘缠着的一根根头发都<u>拣</u>掉。 敞(cān) 拣(gāe)</p>	<p>(阿宝は地面にあるタバコの吸殻と新聞紙を全部拾い上げて、またドレッサーのものをちょっと整理して、開け放してある化粧用クリームの入れ物の蓋を一つずつ閉め、また櫛にくっついている髪の毛を一本ずつ取り除いた。) 敞：開ける。(《敞开 cānkài》:開け放す。結果補語を附加した用法。)敞开＝〈打开〉 拣：選ぶ。(前掲「8-120-21」に同じ。「拣掉」は《拣脱 gāetek》にも使われており、結果補語を附加した用法。)拣掉＝〈拿掉〉</p>
12-213-5、6	<p>(阿宝)笑道：“刚才二小姐一定要把这个戒指<u>扭</u>给我，又答应给我钱，叫我给她送信。” 扭(ò)</p>	<p>(阿宝は笑って、「さっき、二番目のお嬢さんが無理やりこの指輪を私にくれて、また私にお金を渡すから、彼女に手紙を届けさせて欲しいと言ったわ」と言った。) 扭：無理やり相手にものを押し付ける。「扭给」は《扭拨 òbek》にも使われており、結果補語を附加した用法。)扭给＝〈硬塞给〉</p>

12-213-19、20	说着，她又想起一桩事来，便打发阿宝到她娘家去，只说他们人手不够，派阿宝来帮他们理东西，…… 理(lǐ)	(話をしながら彼女は突然ある事を思い出して、すぐ阿宝を実家へ行かせ、そちらの人手が足りないから、阿宝を物の片付けに行かせたと言うだけだった。…中略…) 理: 片付ける; 整理する。(前掲「3-42-8」に同じ。「理东西」は《理物事 lǐmùkzhi》にも使われている。) 理东西 = 〈整理东西〉
12-214-18、19	一同去，当然不成问题，但是世钧在上海还有几天耽搁，…… 耽搁(dàgegōk)	(一緒に行くなら勿論大丈夫だが、しかし世鈞はまだ上海で何日か留まり、…中略…) 耽搁: 留まる。(前掲「10-154-5~7」に同じ。) 耽搁 = 〈逗留〉
12-216-3~5	朱小姐笑道：“我倒也不大清楚，只晓得新娘子家在上海，不过他们结了婚就一块回去了。” 晓得(xiāodek)	(朱さんは笑って、「私もあまりよく知らないが、花嫁の実家は上海にあるけれども、彼らは結婚した後すぐ一緒に帰って行ったそうさ。」と言った。) 晓得: 知る。(前掲「7-104-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉
12-216-12、13	叔惠看了看手表，道：“我还得上厂里去一趟。今天没等到下班就溜出来了，……” 溜(liùe)	(叔惠はちらっと腕時計を見て、「僕はまた会社へ行かなければならない。今日退社時間まで待てずこっそりと抜け出してきたからだ。…中略…」と言った。) 溜: こっそりと抜け出す。(前掲「10-167-1~3」に同じ。《溜出来 liùečekláe》は方向補語を附加した用法。) 溜出来 = 〈偷偷地出来〉
12-217-20、21	一走进弄堂就感到一种异样的生疏，也许因为他晓得已经人去楼空了，…… 晓得(xiāodek)	(〈彼は〉小巷に入るとすぐある異様な疎外感を感じた。それは人が去り、建物が空っぽとなっているのを知っているからだ。) 晓得: 知る。(前掲「7-104-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉
12-217-13 ~ 15	看弄堂的笑道：“还是去年年底搬的。我这儿有他们两封信，要晓得他们地址就给他们转去了，……” 晓得(xiāodek)	(小巷の番人は笑って、「やはり去年の年末に引っ越されたのだ。こちらで彼らに宛てた手紙二通持っており、もし住所を知っていれば転送してあげたのに。…中略…」と言った。) 晓得: 知る。(前掲「7-104-25」に同じ。) 晓得 = 〈知道〉
12-220-10、11	下了车一揪铃，依旧在铁门上开了一个洞，一个仆人露出半边脸来，似乎还是上次那个人。 揪(qiūn)	(車から降りてチャイムを押すと、相変わらず鉄の門に小さな穴が開いて、ある召使いが顔を半分出してきたが、やはりこの前の人のようだった。) 揪: 押す。(前掲「4-55-12」に同じ。) 揪铃 = 〈按鈴〉
12-220-21、22	他等世钧走进来，依旧把门闩上了，……。 闩(suàn)	(彼は世鈞が入ってから相変わらず門に施錠し、…中略…) 闩: 施錠する。(前掲「9-140-5」に同じ。《闩上 suànshàng》は結果補語を附加した用法。)

		円上 = 〈拴上〉
12-221-3、4	曼桢撑起半身，很注意地向窗外看着，…… 撑(càn)	(曼桢は上半身を支えながら起き上がって、注意深く窓の外を見ていた。…中略…) 撑：支える。我慢する(前掲「11-186-5、6」に同じ。《撑起 cànqǐ》は方向補語を附加した用法。) 撑起 = 〈支撑起〉
12-222-4、5	那男仆出去了一会儿，又送茶进来，搁在他面前的一张矮桌子上。 搁(gō)	(その下男は暫く出て行ってから、またお茶を運んで入ってきて、彼の目の前にある低いテーブルの上に置いていた。) 搁：置く。(「前掲 9-139-14」に同じ。《搁在 gō zhái》は結果補語を附加した用法。) 搁在 = 〈放在〉
12-223-3、4	曼璐端起茶来抿了一口。 抿(mǐn)	(曼璐はお茶を持ち上げてほんのひと口飲んだ。) 抿：ほんの少し飲む。(《抿茶 mǐnzhá : お茶をほんの少し飲む。抿茶 = 〈品茶〉)
12-223-11 ~ 13	因为这种谎话是很容易对穿的，但是看这情形，要是不这样说，料想他也不肯死心。 对穿(děicuān)	(このような嘘はつき合せて突き破られやすいものではあるが、今の状況を見ると、このように言わなければ彼は諦めないだろうと思う。) 对穿：つき合せて突き破られる。(「对穿」は結果補語を附加した用法。) 对穿 = 〈戳穿〉
12-225-11 ~ 13	……这样想着的时候，就好象已经面对面在那儿对他诉说着，她立刻两行眼泪挂下来了。 挂(guā)	(…中略…彼女はこのように思っている時だけでも、すでに彼と面を向かって、そこで彼に話を述べているようであり、彼女はすぐ二筋の涙が流れてきた。) 挂：流れる。(《挂下来(guā xià lái)》：流れてくる。方向補語を附加した用法。) 挂下来 = 〈流下来〉

【参考資料】

榎本英雄／范晓 著、1996年4月5日第6刷『エクスプレス上海語』(白水社)

阮恒輝 著、2014年8月『上海話教程』(上海辞書出版社)

錢乃栄 編著、2008年4月第5版『上海話大詞典』(上海辞書出版社)

丁迪蒙 著、2015年1月第2版『学説上海話』(上海科技文献出版社)

宮田一郎 編著、昭和63年9月10日『上海語常用同音字典』(光生館)

【参考文献】

張惠苑 編集、2014年1月『張愛玲年譜』(天津人民出版社)

余斌 著、2001年12月第2版『張愛玲伝』(広西師範大学出版社)

「張愛玲作品」

『十八春』1986年1月第1版(江蘇文藝出版社)

[長篇小説]『半生縁』2001年4月1日(皇冠文化出版有限公司・典藏初版一刷)